



子どもの
安全・安心特集

市民パワーで実現しよう 安全・安心のまち “高槻”を

家庭、地域、行政の連携で 進む子どもたちの安全対策

〈市が取り組む学校園内の安全対策〉

月～金曜日の登校時から下校時まで全小学校校門などへの警備員の配置
市立全小・中学校・幼稚園に「さすまた」を配備
子どもたちへの防犯教育の充実
学童保育室の危機管理体制充実にファクスを設置
教職員公開防犯訓練の実施
市立全小学校への非常警報装置の設置など

〈地域における登下校時などの安全対策〉

セーフティボランティア登録制度の充実（腕章やベストなどの配布）
セーフティボランティアによるパトロール
通学路安全マップの作成
地域教育協議会との連携
防災行政無線の活用
高槻警察署との連携
子ども110番の家の充実（保険など）
郵便局、タクシー会社などによるバイク・車に子ども見守りステッカーの張りつけ、子どもの危機事象発見時の通信・連絡システムの確立



セーフティ・ボランティアに見守られ安心して登下校

子どもたちの笑顔があふれるまちに

子どもたちを巻き込んだ犯罪が社会問題となる中、市は、「安全・安心」を重点施策の1つとし、安全なまちづくりを家庭、地域と連携して積極的に進めています。

このような中、地域全体で子どもを見守る協力体制を確立しようと、市コミュニティ市民会議（中野久一議長、全市32地区コミュニティ）が、「地域の力で子どもの安全を守る市民大会」（下欄参照）を2月18日（土）、生涯学習センターで開催。市内での取り組み事例の発表や大会宣言などが行われます。皆さん、ぜひ、ご来場ください。

子どもたちを巻き込んだ犯罪が社会問題となる中、市は、「安全・安心」を重点施策の1つとし、安全なまちづくりを家庭、地域と連携して積極的に進めています。

このような中、地域全体で子どもを見守る協力体制を確立しようと、市コミュニティ市民会議（中野久一議長、全市32地区コミュニティ）が、「地域の力で子どもの安全を守る市民大会」（下欄参照）を2月18日（土）、生涯学習センターで開催。市内での取り組み事例の発表や大会宣言などが行われます。皆さん、ぜひ、ご来場ください。

子どもを見守る体制確立へ

家庭・地域に 犯罪防止の輪が広がる

警察や行政だけでなく、通学途中の子どもたちを見守るボランティア活動も各校区で行われ、現在では2000人を超えるボランティアが市に登録されています。

さらに犯罪防止の輪は、さまざまな地元企業・団体にも広がっています。今回の市民大会は、この輪をさらに広げ、市民パワーを結集して安全・安心のまち「高槻」にしよう、子どもたちの安全に関わる53の団体・企業などの協賛を受けて、市コミュニティ市民会議が開催します。保護者と住民、各種団体、行政が協力して、子どもたちを犯罪から守りましょう。

地域ので子どもの安全を守る市民大会

〈日時〉2月18日（土）午後1時～3時 無料
〈会場〉生涯学習センター2階多目的ホール
〈内容〉地域の取り組み事例「女瀬川南4団体連絡協議会の取り組み」「三箇牧地区の取り組み」の発表、講演「子どもの安全を守る～今つなぐ地域の輪」（講師＝市小学校校長会会長・小泉雅章）、子どもたちの作文発表など 手話通訳あり
〈定員〉先着300人 保育あり（申込順10人。申し込みは、2月13日（初）～17日（金）にコミュニティ推進課へ）
〈問合せ〉コミュニティ推進課 ☎674・7462

問合せ	
コミュニティ推進課	☎674・7462
市教育委員会指導課	☎674・7631
危機管理課	☎674・7314